

元気で躍進 地域経済

東京で開催の環境展 地盤改良技術を出展

尾鍋組、三重大と開発

松阪市飯南町宮前の株式会社尾鍋組（尾鍋哲也代表取締役）は、26日まで東京都江東区の東京国際展示場で開催されている環境ビジネス見本市「第26回環境展」（環境省など後援）に参加し、三重大学と共同開発した地盤改良技術を出展している。

同展は、産業振興と持続可能な循環型社会の両立を目的とした環境技術・サービスを集めたアジア最大級の展示会。日報ビジネス株（東京）が主催し環境省、経済産業省、日本商工会議所などが後援。「土木・建設・災害対策」「節電・省エネ対



尾鍋代表（右）らがPRするブース＝東京都の東京国際展示場で

然石を使うことで地中に人工物を残さない点に特長がある。同社では事業拡大に伴う施行代理店網を全国に広げており新たな市場獲得を狙う。

策」などの分野別に国内外から約1500団体が出展する。23日から4日間の会期中に15万人の来場者を見込む。

尾鍋組は砕石活用「地盤改良技術「エコジオ」法」を共同研究し開発した三重大学の酒井俊典教授からの呼び掛けで参加し

尾鍋代表は「環境に興味ビジネスや廃棄物処理に携わる企業や教育機関など多くの来場者があったという。尾鍋代表は「環境に興味がある人たちに広くPRしていきたい」と話す。